

令和6年度学校評価記入用紙（年間評価）

青森県立尾上総合高等学校 通信制

※ 評価方法(評定の記入) 4:達成できた 3:ほぼ達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった

全般		項目		評価基準	個人評価平均	昨年
1	学校経営	1-1 教育目標	1-1-1	経営方針や活動計画は、生徒の実態を踏まえたものとなっている。	3.4	3.6
			1-1-2	通信制課程の特色を十分に考慮し、魅力ある学校作りに取り組んでいる。	3.6	3.5
		1-2 校務分掌	1-2-1	分掌の構成は、年齢・経験等のバランスがとれ、かつ適材適所となっている。	3.0	2.9
			1-2-2	分掌の組織は、学校の実態に基づいて編成され有機的に機能している。	3.3	3.0
			1-2-3	分掌間の連絡・調整や協力体制が図られ、教育活動の改善に生かされている。	3.4	2.9
		1-3 危機管理	1-3-1	危機管理マニュアルが整備されていて、教職員に周知徹底されている。	3.3	3.4
			1-3-2	災害や事故防止のための管理体制が整っており、組織的に機能している。	3.6	3.5
		1-4 財務会計	1-4-1	教科・分掌に必要な備品や消耗品が配置され、有効に活用されている。	3.7	3.8
			1-4-2	会計に関する諸表簿は適正に整備され、決算報告は適正に行われている。	3.9	3.9
		1-5 学校評価	1-5-1	学校の教育方針や教育活動について、生徒・保護者に説明や情報提供をしている。	3.6	3.5
			1-5-2	学校評価を行い、学校のあり方や教育活動の改善のために活用している。	3.9	3.9
2	教育活動	2-1 教育課程	2-1-1	教育目標・重点目標・学校課題等を踏まえて基本方針を決定している。	3.9	4.0
			2-1-2	生徒や学校の現状、地域の実態を十分に配慮している。	3.9	3.9
		2-2 教科指導	2-2-1	学習指導要領に基づき、学校の教育目標、重点目標を踏まえて指導している。	3.9	3.9
			2-2-2	基礎的・基本的な内容が身に付くよう、指導内容の重点化、教材の精選・工夫、レポートの作成に努めている。	3.7	3.6
		2-3 特別活動	2-3-1	生徒の実態や学校の特色を生かした指導計画を作成している。	3.7	3.8
		2-4 総合探究	2-4-1	活動計画は、生徒の実態や興味・関心、地域の特色を生かしたものになっている。	3.7	3.4
		2-5 体育・健康教育	2-5-1	地域や生徒の実態及び関係諸法令等を踏まえた指導計画を作成している。	3.4	3.6
		2-6 生徒指導・教育相談	2-6-1	生徒や地域の実態に応じて、全教職員の共通理解のもとに指導計画を作成し、連携した指導体制を整えている。	3.6	3.4
		2-7 進路指導	2-7-1	生徒や地域の実態に応じて、全教職員の共通理解のもとに指導計画を作成し、連携した指導体制を整えている。	3.4	3.4
		2-8 環境教育	2-8-1	学校の実態に即し、教職員が連携して指導できる体制を整えている。	3.4	3.6

分掌		重点目標		評価基準	分掌自己評価	個人評価平均	昨年
3	教 務	3-1 生徒の実態把握と効果的な支援	3-1-1	スクーリング日の放課後または翌日に、生徒についての情報交換の場を設け、生徒一人一人の実態把握を行っている。また、その実態に応じた効果的な支援を協議し、実践している。	4.0	4.0	4.0
			3-1-2	スクーリングへの参加率向上並びに卒業率の向上を目指し、GoogleClassroomを活用しながら、着実なレポートの提出と単位の修得を促している。	3.8	3.5	*
			3-1-3	主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指し、レポート指導等個人指導を充実させ、生徒の基礎学力の向上や成功体験に寄与している。	3.4	3.5	3.8
		3-2 個に応じた「わかる」授業の実践と基礎学力の定着	3-2-1	公開研究授業を実施し、スクーリングに対する意見交換の場を設け、教師の指導力向上およびスクーリングの内容充実を生かしている。	4.0	4.0	4.0
			3-2-2	基礎的・基本的な学力の定着をめざし、且つ生徒の興味・関心に応じた幅広い教育課程の計画と運用を行っている。	3.8	3.5	*
			3-2-3	校内研修の活発化を図るとともに、校外の研修への参加を推奨し、教師自身の学ぶ体制を整えている。	4.0	3.5	3.5
			3-2-4	「授業アンケート」を実施し、着実に振り返りを行い、スクーリングをブラッシュアップさせている。	3.2	3.5	4.0
		3-3 安定的で円滑な公務の運営	3-3-1	各分掌、定時制と連携し、行事や授業が円滑に実施されるよう調整している。	3.8	3.5	*
			3-3-2	校務支援システムや諸システムの効率的な運用を行っている。	3.2	3.5	*
			3-3-3	次年度への改善に向けて、各行事の反省を常に行っている。	3.6	3.5	3.8
4	生徒指導	4-1 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成	4-1-1	登下校時や授業開始前・終了後など、学校生活の様々な場面での教職員の積極的な挨拶指導をとおして、自発的に挨拶する態度を身に付けさせている。	4.0	4.0	4.0
			4-1-2	(いじめ) 生徒及び保護者へのアンケートをとおして職員間で情報共有をし、集会や面談を活用していじめ防止の啓発をしている。	3.8	4.0	*
				(いじめ) 「いじめ防止委員会」を充実させている。	3.0	3.3	3.8
		4-2 生徒会活動の活性化	4-2-1	(生徒会活動) 生徒会役員の自主的活動を援助し、物事をやり遂げる達成感を持たせている。	4.0	3.7	*
				(生徒会活動) 生徒会活動の活性化のため、定期的に役員会を開催している。	4.0	3.7	3.8
			4-2-2	定通総体への参加を働きかけ、部活動を充実させている。	3.5	4.0	*
		4-3 生徒理解の深化	4-3-1	生徒理解のため、登下校時やスクーリングなどさまざまな機会を生かし、生徒と対話をしている。	4.0	4.0	3.8
			4-3-2	学校行事や特別活動へ積極的な参加を促し、それらを通して生徒理解を行っている。	3.8	4.0	3.8
			4-3-3	総合探究で「自己理解」に関するテーマを設定し、生徒個々の状況を把握しながら生徒理解を行っている。	3.8	3.3	3.4
5	進路指導	5-1 生徒への主体的な進路選択のための支援	5-1-1	オープンキャンパスや職場体験等への参加を促し、自ら情報収集するよう指導している。	4.0	4.0	3.2
			5-1-2	面談をとおして、卒業後の将来を考えさせ、自己選択をさせている。	4.0	3.6	3.2
		5-2 保護者への積極的な進路情報の提供	5-2-1	進路だよりを発行し、より具体的な進路情報（オープンキャンパス、求人情報、各種説明会等）を積極的に発信している。	3.5	3.8	3.8
			5-2-2	保護者会において進路情報の提供をしている。	3.5	3.6	3.8
		5-3 望ましい職業観・勤労観や人生観の育成	5-3-1	総合的な探究の時間と連携し、キャリア教育を充実させている。	3.0	3.8	3.6
			5-3-2	進路講話を実施し、進路意識を向上させている。	3.0	3.8	3.8
			5-3-3	パソコン教室を実施し、資格取得などのスキルアップに寄与している。	3.0	3.4	3.6

6	渉 外	6-1	保護者と学校の密な連携と保護者会の充実	6-1-1	学校や生徒の様子について、「たより」を発行して伝えている。	3.8	4.0	4.0
				6-1-2	保護者会を開催し内容を充実させている。	3.8	3.7	4.0
				6-1-3	学校評価アンケートの実施と分析により、生徒の健全育成に寄与している。	3.8	4.0	4.0
		6-2	定時制との連携と後援会・PTA・同窓会活動への協力	6-2-1	定時制渉外部と連携し、後援会・PTA予算の適正かつ迅速な会計処理を行っている。	4.0	3.7	4.0
				6-2-2	後援会役員との協力のもと、よりよい教育支援活動を充実させている。	3.8	3.7	3.8
				6-2-3	同窓会活動への参加・協力を図るため、新会員への呼びかけを行っている。	3.5	3.7	4.0
		6-3	県定通教育振興会事務局	6-3-1	県定通教育振興会事務局としての遺漏なき準備と運営を行っている。	3.8	3.7	4.0
7	保 健	7-1	健康の保持増進	7-1-1	定期健康診断の結果に基づき、事後指導を徹底している。	3.3	3.5	4.0
				7-1-2	健康に対する自己管理の必要性を認識させ、規則正しい生活を実践させている。	3.3	3.5	3.8
				7-1-3	保健だよりの発行や保健教育指導により、健康の保持増進を喚起している。	4.0	4.0	3.4
		7-2	事故の未然防止	7-2-1	救急体制を確立している。	4.0	3.8	4.0
				7-2-2	校内の整備を行っている。	3.3	4.0	4.0
		7-3	校舎内外の美化、学習環境の整備	7-3-1	校内の美化に対する意識の向上を図り、清潔な学習環境を保っている。	3.3	3.5	3.8
				7-3-2	ゴミの分別を徹底させている。	3.3	3.3	3.6
		7-4	感染症への対策と予防	7-4-1	感染症についての理解を深め、予防への意識を高めている。	3.7	3.5	*
8	1 年 次	8-1	基本的生活習慣の確立	8-1-1	挨拶の励行を促し、学校生活上の基本的ルールを身に付けさせている。	3.5	3.4	3.5
				8-1-2	「総合的な探究の時間」等を利用し、自己の課題を発見させ、自立する心と規則正しい生活リズムを身に付けさせている。	3.5	3.2	3.7
		8-2	自学自習の習慣の確立	8-2-1	通信制特有の学習形態を理解させ、自分なりの工夫や探究心を持たせている。	3.5	3.4	3.7
				8-2-2	個人面談等を通して一人一人が自分に合った学習方法を確立させている。	3.5	3.0	3.5
		8-3	協調性・社会性の育成	8-3-1	集団の中で行動し、達成感や楽しさを感じられるよう、行事等への積極的参加を呼びかけている。	3.5	4.0	4.0
				8-3-2	相手を思いやる心を育成し、周囲と調和した行動をさせている。	3.5	3.2	3.7
9	2 年 次	9-1	将来をイメージした時間活用	9-1-1	社会生活について情報を集め、総合的な探究の時間を活用してライフプランを作成させている。	4.0	4.0	*
				9-1-2	アルバイトなども含め、スクーリング日以外の時間をどのように活用するのか目標を設定させ、現在の生活を改善させている。	4.0	3.4	3.3
		9-2	計画的な学習習慣の確立	9-2-1	ホームルームや個人面談、進路講話等を活用し、学ぶこと、知ることの重要性を説く。その上で計画的にレポート等の学習ができるよう「生徒必携」の活用方法を指導し、自己確認を習慣化させ、事前連絡を徹底している。	4.0	3.6	3.5
				9-2-2	スクーリングへの出席、個人指導の申込みやレポート指導日の活用、パソコン教室等への参加を呼びかける。	3.0	3.6	3.3
				9-2-3	学習に限らず、質問しやすい雰囲気を醸成している。	4.0	4.0	*
		9-3	自律性・社会性の育成	9-3-1	挨拶の励行、時間の厳守、連絡の重要性、および周囲への気配りや思いやりの心等、人としてのモラルやマナーについて考え、身につけられるよう指導している。	3.0	3.2	3.3
				9-3-2	学校行事や特別活動への参加を呼びかけ、集団の中で調和した行動が実践できるように指導している。	4.0	3.4	3.7
10	3 年 次	10-1	幅広い学力の向上と自発的・積極的に学ぶ姿勢の確立	10-1-1	学びの基本である自学自習の定着を図るとともに、より深く広い知識や技能を身につけようとする態度を育てている。	3.5	3.8	3.8
				10-1-2	総合探究などの機会を利用して、社会生活に必要な基本的知識を習得させている。	3.5	4.0	3.6
		10-2	社会人としてふさわしいマナーや態度の育成	10-2-1	挨拶の励行や礼儀正しい言動に努めさせ、社会人に必要とされる態度や行動を身につけさせている。	3.5	3.8	3.8
				10-2-2	行事等への積極的参加を促し、自主性・社会性・協調性を育んでいる。	3.0	3.4	3.6
		10-3	生徒一人ひとりの適性	10-3-1	個人面談等とおして、自分の能力や適性を把握させ、自己実現をめざした進路目標を達成させる。	4.0	4.0	3.8

○ 評価2or1及び後期・次年度に向けての提案

- ・ 3-2-4 「授業アンケート」は今年度formsでの実施を試みたが、生徒によってはformsにアクセスできない者もあり、紙を用意することになった。

(振り返りは……?)

- ・ 5-3-2 卒業予定者向けに行ったサボステのガイダンスはたいへん有益だったと思います。
